

モデルハウスで本物に触れるとイメージがより鮮明になる

# 床。

9畳大の吹き抜けを設けた開放感たっぷりのリビング。窓越しに眺める森の緑、光の移ろいが上質なくつるぎを演出。天井や建具、家具などもチーク材の色、質感にマッチするものを厳選



近年、無垢のフローリングを採用したモデルハウスが増えています。新築やリフォームは、最初に「床」を決めることにより、理想のわが家のイメージがより鮮明になるはず。モデルハウスで本物の「床」の素晴らしさをご自身の目で、肌で確かめて、心から満足できるマイホームを実現してみませんか。

写真／岩浪 睦 文／森廣 広絵

## 自然の心地よさ満ちる家

お洒落なカフェやインテリアショップ、書店などが点在する札幌市中央区の藻岩山麓通り。緑豊かな街並みに溶け込むように佇んでいるのが、(株)北王の双子山モデルハウスです。ここに、今話題のフローリングが採用されています。

円山と藻岩山の谷間に位置するこのエリアは、豊かな自然と都市、二つの顔を持っています。その恵まれた環境を存分に生かし、都市と自然を楽しむ家をテーマに、素材感や自然光の移ろいを大切に設計されています。まずと、札幌支店営業課の前田さん。

暮らしの中心となる1階のLDKには9畳相当のダイナミックな吹き抜けが設けられ、光の移ろいとともに森の四季の彩りが室内に染み込むようです。1〜2階の全フ



ドアを開ければ、チーク材の温かな木肌と中庭越しの緑、光が迎える玄関ホール

ロアには、シーゲルのハイブリッド・フローリング「チーク」を採用。オレンジがかった温かな色味、表情豊かな木目が、開放的な室内に程よい重厚感と落ち着きを与えています。しっとりとした足裏になじむやさしい感触も、チークならではの贅沢に使われたチークのフローリングによって、都市の洗練と自然の心地よさ、目指した住まいのテーマが実現されています。

「これまで当社では、さまざまなタイプの床材を採用してきました。しかし、今回はより上質なインテリアを目指し、高級リゾートで多く使われているチークをシーゲルさんの豊富なラインナップの中から選びました。室内の建具や造作収納、家具なども、チーク材のしっとりとした色、質感に合わせて、素材を厳選しました。本物を愛する方に、じっくりとご覧いただきたいと思っています。」

右/床の質感に合わせて、木質感のあるキッチンを採用。木の温もりを生かした、落ち着いた雰囲気、食卓の会話も弾む  
中/2階のフロアにもすべて、チークの幅広フローリングを採用。リビングを見下ろす吹き抜けの廊下には、家族共有のスタディコーナーをしつらえて  
左/ウォークインクローゼットを隣接させ、シンプルな空間に仕上げた主寝室。素足に、チーク材の感触が心地よく、温かい



## 専門店だから意匠も自在

シーゲルのハイブリッド・フローリングは、高いインテリア性と床暖房対応という機能性を兼ね備えており、チークの他にもウォルナット、オーク(ナラ)、パーチ(カバ)と4樹種から選ぶことが可能。なかでもチークの120mm幅広の商品は大変希少なため、最近では床暖房を使用されないお客様でも、このハイブリッド・フローリングを採用されるケースが増えているといえます。

「シーゲルさんは、こうした樹種を選択ができるばかりではなく、自社工場を持ってるので、既製品では実現できない色や質感もオリジナルで作っていただけるのがありがたいですね。今や、住宅はただ住むだけでなく、暮らしを楽しむ場所であり、日々



吹き抜けのハイサイドライトからこぼれる外光がチーク材の床に時を刻む。階段の踏み板も、チーク材との統一感を図った

の癒しを得る場所。それを実現できるという意味ではシーゲルさんのショールームは今後、ますます注目されるのではないのでしょうか。」

近年では、モデルハウスに無垢材のフローリングや壁材を採用するビルダーさんが急増しています。リアルな生活空間に施工された床を見ることで、インテリアのプラン、資金計画も考えやすくなります。また、モデルハウスでフロアがコーディネートしたインテリアを見るのも、プランづくりの参考に。室内で大きな面積を占める床を最初に決めて、それに合う照明や家具、ファブリックを選ぶ。理想のマイホームを実現する近道は、モデルハウスにもあります。

